

発行日 平成 26 年 12 月 4 日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第28回 朗V連交流会 盛況のうちに終わる

寒さも緩んだ秋の一日 第 28 回朗読ボランティア連絡会交流会が 11 月 17 日 (月) 午後 1 時から、兵庫県民会館「けんみんホール」にて開催されました。

朗V連の 25 グループと一般参加の方も含め、300 名近い方々にご来場いただきました。ご多忙の中ご来賓の皆様、公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団湯川常務理事はじめ多数ご出席頂き盛会裏に終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

第 1 部では、明朗会 (明石市) による朗読発表が行われました。油屋の女将 おむらの心の動きが如実に伝わってくる『年の市』を、見事な朗読で語って下さいました。

第 2 部では、河路勝氏による公開講座・講演・朗読と多彩なプログラムが続きました。公開講座ではテキストに「一絃の琴」・「手毬」が取り上げられ、4 人の受講者がそれぞれの読み方で挑戦して下さいました。次の講演では「日本語を音声表現するには」という演題でお話ししていただきました。・言葉の頭を立てる ・文中の大事な言葉を起こす ・読むときにも話すときと同じように動機を持つこと ・呼吸法の訓練 など中身の濃いお話を聞くことができました。いただいた資料も参考にしながら今



後の活動に役立てていきたいものです。休憩の後は河路先生の「山月記」の朗読です。虎の姿の李徴が草叢に隠れ、友の袁参と話す場面では私たちもその場所にいるような臨場感あふれる朗読で、会場も一体となっていたように感じました。

第 1 部、第 2 部ともに充実した時間を過ごし、出席グループの紹介、おしゃべりなどで交流も深められたようです。楽しくあっという間の一日でした。交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動につなげていきたいと思ひます。

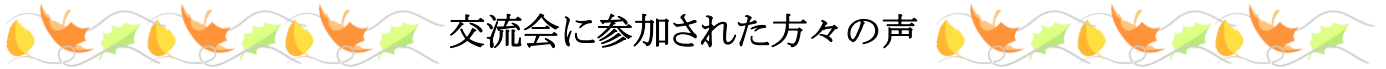


第 28 回交流会に参加して

朗読ボランティアほほえみ 野上 忍

県内各地から集まった方々で満席の会場は、グループ名と所在地が紹介され、会釈と拍手でまさに交流の場となりました。朗読を通した繋がりがホール全体を暖かく包んでくれたのです。「年の市」おむらの無念を感じ感動しました。河路先生は色々な角度からの朗読法をお話下さり、私は興味深く一生懸命聞かせていただけました。楽しいランチで始まったお出かけも気付けばしっかり朗読のお勉強の日となり感謝！です。交流会ありがとうございました。

先生の「朗読は聞き手と共に歩いていく」座右の銘にしようかな。



交流会に参加された方々の声

第1部 朗読発表

「年の市」を終えて

「ああ、スーッとした！」・・・7月初旬に発表の作品が決まってから4ヶ月余。本番の18分が終わった直後の相棒の感想。山田先生に直接教えを乞い、会のメンバーにも時間をかけて何度も付き合っていた。濃密で刺激的な時間だった。「準備は充分つんだから、あとは思っきり表現したらいいわよ」と言う先輩の言葉に背中を押されてステージに上がる。気持ちのいい18分だった。仲間の応援が心に染む時間だった。

朗朗会 出演者



第2部 公開講座

「公開講座」に参加させて頂いて

控え室の雰囲気は実行委員の方々の気配りや優しさがそのまま空間に満ちており華やかな表舞台もこうした影の支えがあってこそなのだ実感いたしました。講師の河路先生は普段の会話はもとより雑談ですらイントネーション、鼻濁音、無声化が見事なまでに完璧で、まさしくお手本のように綺麗な日本語を正確に操っておられました。そして寛いでらっしゃる時も背筋がピンと伸びており、こういった全ての事が朗読に通じるのだと改めて痛感いたしました。今回生徒として参加させて頂けたことに心から感謝申し上げます。朗読に関して直々にご指導頂いたお言葉を胸に、今後とも精一杯頑張ってお参ります。

花いかだ 福永 有美

交流会アンケートより

第1部 朗読について

- * 大変基本に忠実で、台詞部分も楽しく聞かせていただきました。
- * お二人の交代が違和感なくすんなりとお入りました。音響も時代物らしく良かったです。
- * 音響にもう一工夫あればもっと良くなるのではと思いました。

第2部 公開講座・講演・朗読について

- * 素敵な河路先生のお声を聞けました。講座の指導、講演もわかりやすかったです。
- * 中味が多すぎて理解するのに少々疲れました。
- * 先生のお話はひとつひとつつなずけることばかりで、本当に今回この場に来て得した！と思いました。
- * きっちりしたレジュメで、これをいただけただけでも来たかいがありました。
- * 日本語の奥深さ、美しさを教えていただき、大変良かったです。

交流会全般

- * こんなにたくさんの方が朗読にたずさわり、より高いレベルを目指していることがとても心強いです。
- * 遠くから来たかいがあって、中味の濃い研修をさせていただきました。朗読は奥が深く、まだまだですがこれからも努力したいと思います。
- * 他のグループの方ともお知り合いが出来、1年に一度お会いするのが楽しみです。



アイライトフェア2014が開催

11月9日(日)神戸葺合文化センターでアイライトフェアが開催されました。小雨の中100名を超える皆さんが集まりました。最初は、アイライトアンサンブルによるミニコンサートで始まり、次に山縣祥隆氏による「ロービジョン最近の話題」と題した医療講演がありました。その後森一成氏による「神戸・兵庫の視覚リハ訪問指導の現況と課題」と題した講演があり、パネルディスカッションがおこなわれました。医療や訪問指導の課題等いろいろと考えさせられる会となりました。

NHK巡回朗読セミナー



10月6日～8日、神戸会場と姫路会場にてNHK巡回朗読セミナーが開催され、朗 V 連からも多数の会員が受講されました。アンケートによると、受講は今年「初めて」という方から「5回目以上」という方まで様々でしたが、今回のセミナーを受講して「大変勉強になった」が76%、「勉強になった」が20%、また、来年以降も「是非受講したい」が52%、「できれば受講したい」が48%という回答をお寄せいただきました。講師の先生および受講生の皆様からの声を紹介します。

神戸会場Bコース

高橋淳之先生からのメッセージ

「ことば」を「息」にのせるということをポイントにお話ししました。皆さん耳が良く、すぐ音がとれるのに感心しました。日常の呼吸を生かして、ただ「音にする」のではなく、伝わる「ことば」にしてください。ありがとうございました。

受講生アンケートからの抜粋

- ★ 人数（教室内の）もちょうどよかったです。
- ★ 意味のまとまりを意識して、フレーズでイントネーションをとると、自然な聞きやすい読みになるのだと納得しました。
- ★ 事前に教材が分かれば、どのコースを受講するかを決める参考になるのでは？

神戸会場/姫路会場Cコース

秋山和平先生からのメッセージ

兵庫県の皆様とは、これまで20年近く一緒に勉強をする機会をいただいています。いつも熱心なとりくみ方で感心しています。朗読は、文字の奥にある意味を、いかに音声で伝えるかをいつも工夫しなければなりません。そのために、・話して伝える気持 ・息のつかい方 ・イントネーション ・間 などに工夫して、文章の内容を音の姿にかえる努力をしていくよう、おはげみいただきたく思っています。

受講生アンケートからの抜粋

- ★ アクセントよりイントネーションが大事というお話がわかりやすく良かったです。
- ★ 姫路会場があって助かります。(以前は神戸まで出かけていましたので…)
- ★ 今回は教材が3週間前に届きましたので、少し予習が出来よかったです。
- ★ 息の使い方が大変良く解かりました。
- ★ 毎年、楽しみにしています。わかりやすく教えていただいて大変参考になりました。



姫路会場Bコース

寺田道雄先生からのメッセージ

皆さん、とても熱心ですね。今日は身体で覚えてほしいことを二つ挙げました。一つは、声を相手に届ける為には、まず姿勢を正すこと、二つめは、イントネーションを豊かにすること。ちょっとしたアドバイスで、ぐーんとよくなるのがわかりました。明日からの活動に生かして下さい。お疲れさまでした。

受講生アンケートからの抜粋

- ★ 朗読に対する姿勢—基本をよく学ぶことができました。
- ★ 昨年AB合併コース、今年Bコースを受けたが、来年受けたらBなのかCなのか迷います。

～ ～

NHK巡回朗読セミナー（神戸会場・Bコース）を受講して

今回が初参加の私は朝からドキドキでしたが、授業は真剣ながら和やかな雰囲気ですぐになじむことができました。Bコースの教材は、エッセイ・SF短編小説・時代小説とそれぞれに興味深い作品ばかり。講師の先生が、受講生一人一人に対して注意点などを的確に指導してくださり、朗読の基本を改めて勉強し直す良い機会となりました。来年以降も是非参加したいと思います。(神戸市 M)

第17回中山ワンダフルフェスタを終えて (石川さゆり コンサート)



10月3日(金)午後2時開場、神戸文化ホールにて「石川さゆり コンサート」が開催されました。今年も中山視覚障害者福祉財団様のご厚意により、多くの朗V連メンバーが楽しいひと時を持つことが出来ました。私たちの活動にご支援とご理解を頂きありがとうございます。

中山ワンダフルフェスタに参加して

神戸草笛 森本八千代

初めて参加させていただきました。中山視覚障害者福祉財団様の兵庫県下においての視覚障がい者の社会参加活動に対する支援事業の一つである音楽公演事業、今回は石川さゆりコンサートでした。約2千人の来場者の中、主催者挨拶、盲導犬貸与式の後、いよいよコンサートが始まりました。朗読あり、又落語の披露ありと楽しいひと時を持つことが出来ました。有難うございました。

らくらく デイジー

加古川は1年半前から、5グループ共同作成の「ボイス・アイ」という情報CDを月に一回、視障協の方々にお届けしています。3年前、5グループからそれぞれパソコンに詳しい人達が集まり、デイジー勉強会を立ち上げ、その方たちの指導のおかげでデイジー化が具体的なものとなりました。千草のメンバーは個々のパソコンで録音しているのですが、最初はとても「らくらく」とは言えず、音の高低を整える事から、分割・挿入等、細かな作業にも四苦八苦でした。今ではそれぞれ自宅でスムーズに録音できるようになっています。マイクもパソコン用の性能の良いものに揃えて録音しやすくなりました。毎月の作業としては、まず、読む部分を振り分け、それぞれが自宅で録音したものをUSBに取り込み、そのUSBを交換してお互いに校正します。その校正結果を踏まえて、全体的、又は部分的に録音しなおします。そして、修正済みのUSBを持ち寄り、その月の編集担当とデイジー指導担当が個々の録音を一つにまとめ、そのデータを5グループ共用のパソコンに入れておきます。その月の担当グループが、5グループ分のデータを編集し、最終的にCDを作成し、視障協の方々に郵送します。編集に関しては、まだまだデイジー指導担当者に頼りっぱなしですが、それでも、パソコンを初めてさわる方もいる中で、全員が個々に録音できるようになった事は大きな成果です。これからはもっと音質や読み方の質の良さを追求して、より良いデイジー図書を利用者の方々にお送りできるよう、皆で協力していきたいと思っています。

加古川市 グループ千草 田中 千鶴

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら、下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	京 泉 (朗読V.松ぼっくり)
B	神戸・明石地区	角 野 雅 子 (朗読G.虹)
C	淡路地区	余 川 深 雪 (グループ潮騒)
D	東播地区	福 永 美智子 (朗読V.G.むつみ会)
E	西播地区	西 保 子 (朗読V.G.来夢)

編集後記： ☆ 樫の木グループ創立40周年記念の式に参加させていただき、その歩みに大きな感銘を覚えました。私たちもその後に続いていきたいものです。(よ)

☆ 朗Vでの1番の大仕事、交流会を無事に終えることが出来ました。アンケートにも「良かった」のお声をたくさんいただき、大変嬉しく思います。ありがとうございました。(な)